

「ねんりんピック」 記録写真

平成 15 年 10 月 18 ~ 21 日 ,2003 年度のねんりんピック全国大会が徳島県で開催された。会場の 1 つアスティとくしまでは , 徳島県建築士会バリアフリー研究会が主催する高齢者対応住宅の改修例の展示があった。展示のあった住宅例を記録させていただき , 教材に使うことの許可も得ている。また , 写真の説明に指針と書かれているのは長寿社会対応住宅設計指針のことである。

(1) 玄関



写真 1 玄関

式台を置いて段の高さを半分にし , 手すりをつけて乗り越えやすくしている
段の高さは 30 cm , 式台は 15 cm。
指針 : 玄関上り框 18 cm 以下



写真 2 電動段差昇降機

車椅子ごと段差を乗り越える

(2) 廊下



写真 3 廊下 幅 75 cm
車椅子がぎりぎり通れる幅で ,
リムを回すと手が壁と接触する。



写真 4 廊下 幅 110 cm

車椅子でも余裕がある。
指針 : 廊下有効幅員 78 cm



写真5 手すりの高さ
左から75cm, 80cm, 85cm
身長や用途に合わせている色々な高さに設置する。
75cmを標準とするが,大転子骨の高さが最適。

写真6 手すりと車椅子
車椅子からの立ち上がりでは,モデルは75cmがいいということであった。



(3) 便所



写真7 車椅子対応便所 幅120cm
手すりと背もたれがついて,車椅子でも使える。
介護者も介護しやすい広さである。



写真8 手洗い
右の栓を押せば,一定時間水が流れるもの。センサーで水をコントロールしているものも多い。

(5) 浴室



写真9 浴室入り口
3枚扉で開口部を大きくし,段差を無くして車椅子でも出入りしやすくなっている。



写真10
浴室内部
シャワーチェア(福祉用具)を置いてあり,手すりも設置して使いやすい工夫がされている。

(6)台所

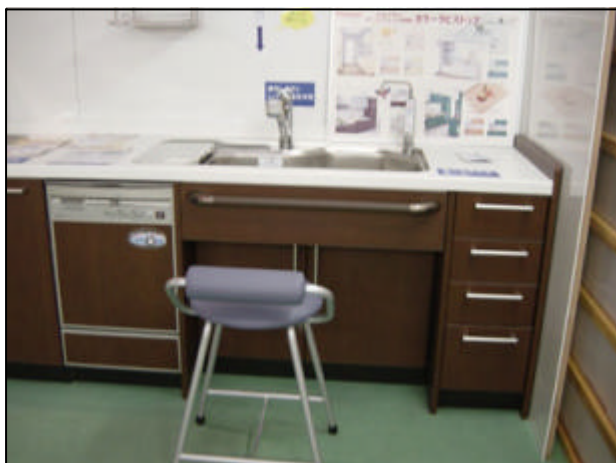


写真11 台所(流し)

車椅子でも利用できるように、膝下が流しの下に入るような設計になっている。また、立ち上がりやすいように、手すりもついている



写真12 電磁調理器

高齢者を火事の危険から守るため、ガスコンロは使わず、電磁調理器を利用している。

表面が発熱しないため火傷もしない。以前から課題の火力も改善され、ガスコンロ並みの火力が得られる。

(7)洗面所



写真13 洗面台

車椅子でも使用しやすいように台の下に膝下が入るようになっている。水栓も、ワンタッチで利用できる。

(8)階段



写真14 階段昇降機

階段で利用する電動の昇降機。何かあった時には、ボタン1つで止められる。動きは非常にゆっくりである。

(9)居室



写真15 電動ベッド

背面位置が電動で無段階に止められ、足元へのずり落ちを防止するため、膝部をあげることができる。褥瘡予防のエアマットを敷いてある。

また、立ち上がりやすいように手すりも設置してある。